

山梨県歯科医師連盟 今回は2ページです。

連盟ニュース 第71号

□発行
山梨県歯科医師連盟 甲府市大手1-4-1
TEL: 055-252-6481 FAX: 055-253-0854
□発行人 一瀬 明 HP: <http://ydpf.jp>
□編集人 一瀬 明・馬場 康二
山梨県歯科医師連盟機関紙

連盟会員の皆様へ

日頃より連盟活動にご協力いただき感謝申し上げます。第26回参議院議員比例区代表選挙においては、山田宏候補が、175,871票を獲得して当選を果たすことができました。各自民党比例代表候補者が票を減少させるか、横ばいの中、前回と比べてただ一人、26,038票増加させました。これは、自民党候補者中、特定枠2名を除外すると18人当選中、8位の成績で当選した事になります。山梨県においても、前回595票よりも2倍以上の1,219票を獲得する事ができました。

この結果は、歯科医師連盟の組織力が発揮され、会員一人一人が努力をした賜物であるといえます。この選挙の結果を総括するために、今回アンケートを実施して会員の皆様の意見をまとめてみました。出された意見を参考にして連盟活動の在り方や、次期参議院議員比例区代表選挙に役立させていきたいと思っております。これからも連盟活動にご協力をよろしくお願いいたします。 [記 一瀬]

【国会情報】

参議院厚生労働委員長に山田宏氏が続投

(第210回国会[臨時会]令和4年10月3日～)

10月3日の臨時国会で、自民党の山田宏参議院議員が参議院厚生労働委員長を引き続き務めることが決定しました。また、自民党は、島村大氏、比嘉奈津美氏、生稲晃子氏、石田昌宏氏、神谷政幸氏、こやり隆史氏、友納理緒氏、羽生田俊氏、藤井一博氏、星北斗氏、本田顕子氏を参院厚労委員に決定しました。

理事は、島村氏、比嘉氏の他、川田龍平氏(立憲)、山本香苗氏(公明)が務めます。

【国会情報】比嘉奈津美参議院議員 参議院予算委員会(令和4年10月19日)質疑

10月19日参議院予算委員会では比嘉奈津美参議院議員が質問に立ちました。概要は下記の通りです。

<質問> コロナを通じて、改めて歯科の役割がみえてきました。今回、国民皆歯科健診には、多くの期待があります。糖尿病、認知症など多くの疾患と口腔の関連が証明されつつあり、国民皆歯科健診が実現されると、あらゆる疾患の予防、重症化抑制につながります。生涯における皆歯科健診推進に対する政府の取り組みをお聞かせいただきたいと思っております。

<答弁> (加藤厚生労働大臣) 広く国民の皆様には口腔のチェックを受ける機会を持っていただける環境整備をすることが必要であり、そのため、来年度に向けて主に働く世代を対象とした効果的な歯科健診の実施に対する支援などを行うための経費を概算要求として実施をしているところであります。国民皆歯科健診に対して、今後予算編成過程も含めて必要な検討を行っていききたいと思っております。

<質問> 歯科医療機関にも物価高騰の影響が出ています。コロナ前に比べて、多くの消耗品が必要となってきました。歯科は非常に多くの材料がかかります。そして、感染予防対策をしながら患者さんの口腔健康管理に尽力しています。歯科医療機関に、更なる財政支援をするべきではないかと思っておりますがいかがなものでしょうか。

<答弁> (加藤厚生労働大臣) 先般、創設された6,000億円の電力、ガス、食料品等価格高騰重点支援地方交付金において、効果的と考えられる推奨事業メニューの一番上に医療機関に対する支援を載せさせていただき、それも踏まえて各自治体にも取り組みをお願いしています。歯科医療機関に対しては、歯科用貴金属の素材価格の変動に適切に対応できるよう、3ヶ月毎に随時改定を行うということにも踏み込んでいくところであります。

(2ページ目に続く)

(1 ページ目の続き)

<質問> 来年の4月から医療機関でオンラインの資格確認が原則義務化されることになり、マイナンバーカードと健康保険証が一体化したマイナ保険証に切り替えると発表がありました。ネットワークの整備の上で地方の特に郡部では、回線が届いておらず、回線工事待ちで期限に間に合わないかもしれない。その時は期間延長があるのか。年末に厚労省はオンライン資格確認の整備導入の状況を検討するとのことですが、整備をしないではなく、できない場合の処置はどうなるかお聞かせいただきたいと思います。

<答弁> (加藤厚生労働大臣) いろいろな事情でつながらない所があるというご指摘だと思います。そうした地域医療に支障を生じるやむを得ない事情がある場合に必要な対応については、まず、年末の時点で状況をしっかりと点検した上で必要な対応を考えたい。

<質問> 訪問診療を行っている先生はマイナ保険証になったらどうなるのか。今回の機器の整備にかかる補助のような一定の配慮に加え、医療現場で混乱が生じないような対応を政府はどう検討されているのでしょうか。

<答弁> (加藤厚生労働大臣) 訪問診療を行っている皆様には、簡易に行える仕組みを今、検討しています。そういったものの導入をしっかりとるという事をしていきたいと思います。

<質問> 全身麻酔下での歯科治療も含めた、地域における障がい者(児)に対する、更なる歯科医療提供体制を整備するべきであると考えますが、厚労省のご見解を伺いたいと思います。

<答弁> (加藤厚生労働大臣) 障がい者(児)に対する歯科医療提供体制を構築する事は非常に重要であると考えております。本年度から地域の関係者による歯科医療提供体制の構築を推進するための検討委員会を設置し、それに対する財政支援をさせていただいています。また、歯科麻酔科研修のガイドラインの作成も実施しているところであります。

<質問> コロナ禍で歯科は唯一、相手に「マスクを外して下さい。」と言って、しかも接近して仕事をしています。それでもクラスターも起こさず、日頃から感染対策に非常に力を入れています。その歯科医師のご苦勞と、健康とお口の中の関係というものを総理はもうご理解いただいているものだと思います。そこで、ここまでの歯科関連の質問を受け、総理の口腔保健への意気込みをお聞かせいただきたいと思います。

<答弁> (岸田内閣総理大臣) 口腔の健康、これは全身の健康につながるものであるという事、また、子供から高齢者まで健康で質の高い生活を営むために口腔健康、これが極めて重要であると認識をしております。そして、歯科保健医療政策に関する課題については、厚労大臣から答弁をいただいた通りであります。政府としては、生涯を通じた歯科健診の実現に向けた具体的な検討を進めるなど、今後とも歯科口腔保健に関する政策を積極的に推進して参りたいと考えています。

以上が予算委員会での比嘉奈津美参議院議員の質疑の概要です。この他に、

- ・ 地球温暖化に関してのカーボンニュートラルの実現のための政府の見解
- ・ 沖縄のクルー船について

の質疑を行いました。約35分間の質疑でしたが、今後とも比嘉議員のご活躍に期待したいと思います。

※この比嘉議員の予算委員会の質疑の様子はYouTube（下記URLまたは右記QRコード）でご覧になれます。

https://www.youtube.com/watch?v=AbJRdU_5EpU

